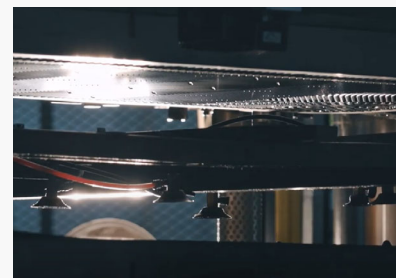
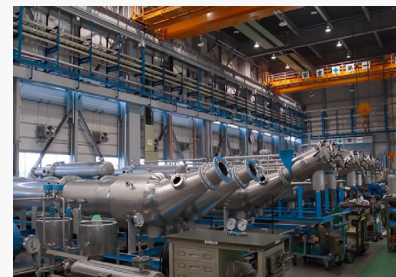


証券コード：6247

2021年3月期 決算説明会 資料



2021年6月3日

 株式会社 ひ 日 さ 阪 製作所

目次

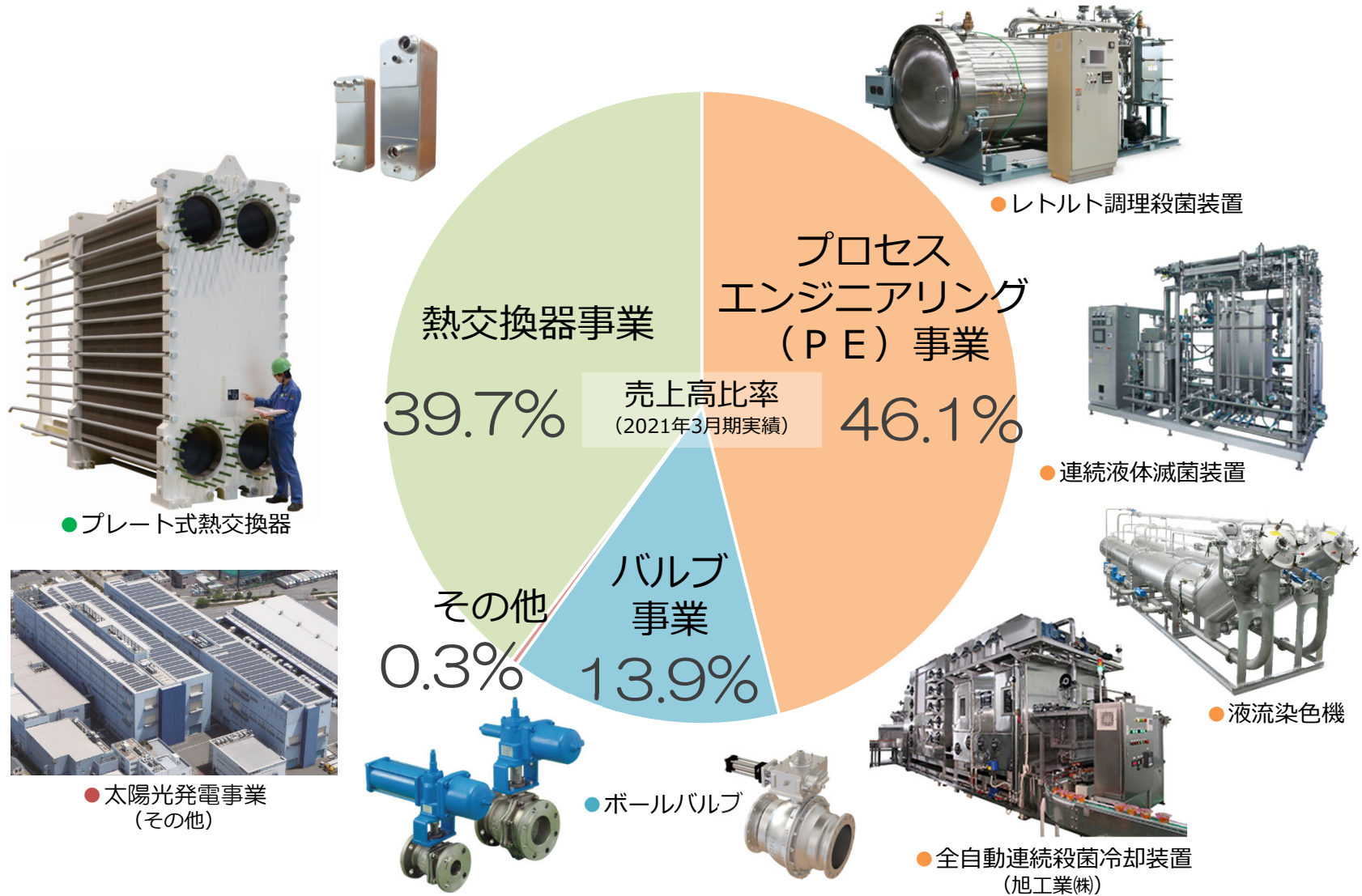
■ 会社概要	．．．	2
■ 2021年3月期決算の概要	．．．	5
■ 2022年3月期決算の見通し	．．．	17
■ 中期経営計画「 G-20 」の概要	．．．	24
■ 中期経営計画「 G-20 」取り組み施策	．．．	33
■ その他の取り組み（経営理念の体系化）	．．．	41

会社概要

社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所 市場第一部
売上高	284億円（連結／2021年3月期）
従業員数	925名（連結）
関係会社数	11社（海外関係会社含む）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・千葉・尾道営業所
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、韓国

※2021年3月末現在

日阪グループの事業領域



はじめに

- 2021年3月期より報告セグメントを変更いたしました。セグメント別業績の前期比は前期の数値を新セグメントに組み替えて表示しております。
- 2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。
- 2021年3月期より「有形固定資産の減価償却方法」を変更しております。

2021年3月期 決算の概要

1-① . 決算の概要 (前期比)

(百万円)

	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	31,952	—	28,165	—	▲ 3,787	▲ 11.9%
うち、海外受注高	4,760		4,137		▲ 623	▲ 13.1%
売上高	32,511	—	28,437	—	▲ 4,073	▲ 12.5%
うち、海外売上高	5,966		4,258		▲ 1,707	▲ 28.6%
営業利益	2,274	7.0%	1,409	5.0%	▲ 865	▲ 38.0%
経常利益	2,573	7.9%	1,765	6.2%	▲ 807	▲ 31.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	6.4%	1,212	4.3%	▲ 867	▲ 41.7%

医薬機器などの一部の業界で需要が拡大したものの、多くの業界で設備投資の抑制に伴う計画案件の規模縮小、延期及び中止が発生

1-② . 決算の概要 (計画比)

(百万円)

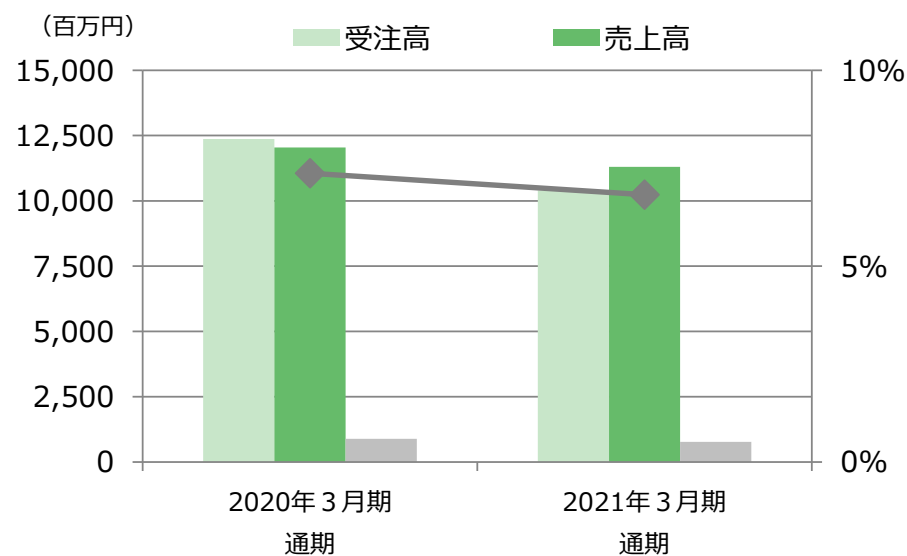
	2021年3月期 通期		2021年3月期 通期			
	計画 (2020/8/7公表)	利益率	実績	利益率	計画比	
					差額	達成率
受注高	28,500	—	28,165	—	▲ 334	98.8%
売上高	28,500	—	28,437	—	▲ 62	99.8%
営業利益	1,300	4.6%	1,409	5.0%	109	108.4%
経常利益	1,540	5.4%	1,765	6.2%	225	114.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,010	3.5%	1,212	4.3%	202	120.0%

1-③ . 当初計画と実績の差額

	当初計画と 実績の差額	2021年3月期 当初計画 (感染拡大前に策定)	(百万円) 2021年3月期 実績
受注高	▲ 4,834	33,000	28,165
売上高	▲ 3,562	32,000	28,437
営業利益	▲ 590	2,000	1,409
経常利益	▲ 434	2,200	1,765
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 287	1,500	1,212

2-①. 熱交換器事業

	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	12,368	—	10,405	—	▲ 1,963	▲ 15.9%
うち、海外受注高	1,844		2,016		171	9.3%
売上高	12,041	—	11,298	—	▲ 743	▲ 6.2%
うち、海外売上高	1,683		1,656		▲ 26	▲ 1.6%
セグメント利益	887	7.4%	771	6.8%	▲ 116	▲ 13.1%



<受注高>

- × 船舶の新造案件が大きく減少
- × 電力や産業機械関連向けが低調
- 半導体や空調向けの需要が堅調

<売上高>

- × 電力や産業機械関連向けが低調
- 化学や医薬品向けを中心にメンテナンス需要が好調

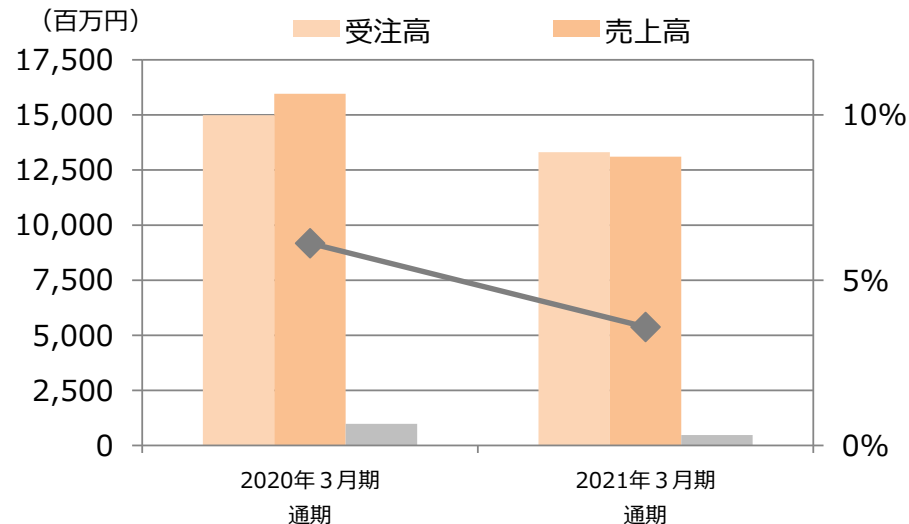
<セグメント利益>

- × 鴻池事業所の大規模修繕による経費増

2-②. プロセスエンジニアリング事業

(百万円)

	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	14,981	—	13,307	—	▲ 1,674	▲ 11.2%
うち、海外受注高	2,306		1,442		▲ 864	▲ 37.5%
売上高	15,957	—	13,100	—	▲ 2,856	▲ 17.9%
うち、海外売上高	3,815		2,084		▲ 1,731	▲ 45.4%
セグメント利益	975	6.1%	469	3.6%	▲ 506	▲ 51.9%



<受注高>

- × 食品機器及び染色仕上機器の引き合いが大きく減少
- 新型コロナウイルスワクチンなどの培養プラントをはじめとする医薬機器が好調

<売上高>

- × 前年度にあった食品機器の大型案件の反動減
- × 国内の染色仕上機器が低調
- 医薬機器の装置改造案件やプラント案件を売上計上

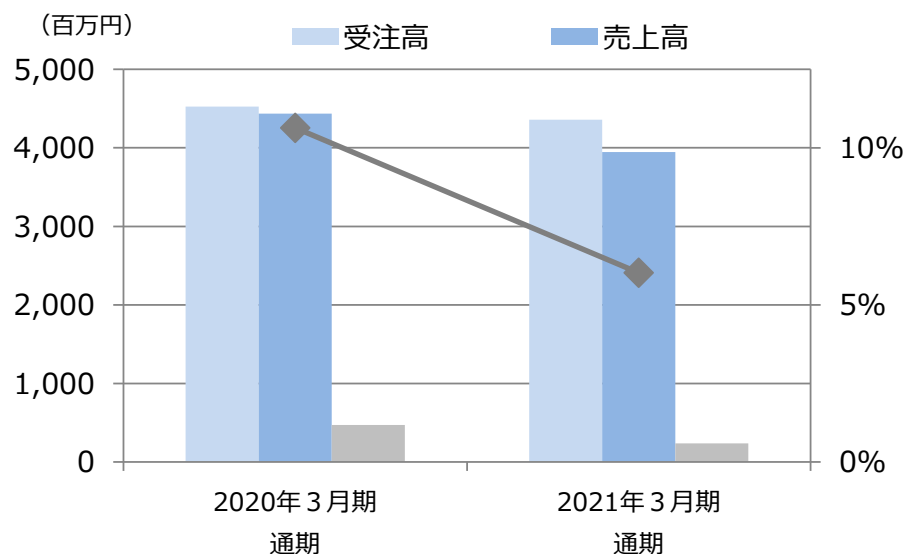
<セグメント利益>

- × 売上高の減少

※2021年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用したことにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「プロセスエンジニアリング事業」の売上高が134百万円、売上原価が196百万円減少し、セグメント利益が62百万円増加しております。

2-③. バルブ事業

	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	4,524	—	4,358	—	▲ 165	▲ 3.7%
うち、海外受注高	609		678		69	11.4%
売上高	4,434	—	3,945	—	▲ 488	▲ 11.0%
うち、海外売上高	467		517		50	10.8%
セグメント利益	471	10.6%	237	6.0%	▲ 233	▲ 49.6%



<受注高>

- × 鉄鋼業界など様々な業界で設備投資が減速
- △ チョコレート業界向けの海外大口案件受注も国内は設備投資が一段落し減少
- 化学業界向けなどの大口案件を受注

<売上高>

- × 化学や鉄鋼業界などの需要停滞を背景に短納期対応の小口案件が減少
- △ 二次電池向けの売上が堅調

<セグメント利益>

- × 売上高の減少
- × 高付加価値品の売上比率減少

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

(百万円)

	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	10,405	36.9%	▲ 1,963	▲ 15.9%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	13,307	47.3%	▲ 1,674	▲ 11.2%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,358	15.5%	▲ 165	▲ 3.7%
その他	78	0.2%	93	0.3%	15	19.8%
受注高	31,952	100%	28,165	100%	▲ 3,787	▲ 11.9%
熱交換器事業	12,041	37.0%	11,298	39.7%	▲ 743	▲ 6.2%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	13,100	46.1%	▲ 2,856	▲ 17.9%
バルブ事業	4,434	13.7%	3,945	13.9%	▲ 488	▲ 11.0%
その他	78	0.2%	93	0.3%	15	19.8%
売上高	32,511	100%	28,437	100%	▲ 4,073	▲ 12.5%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

(百万円)

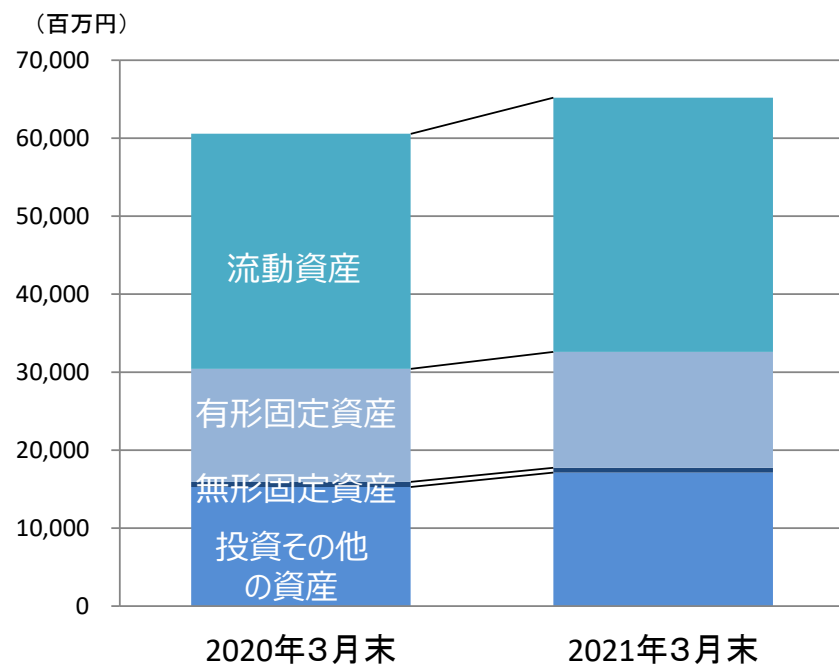
	2020年3月期 通期		2021年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	887	37.3%	771	49.9%	▲ 116	▲ 13.1%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	469	30.4%	▲ 506	▲ 51.9%
バルブ事業	471	19.8%	237	15.4%	▲ 233	▲ 49.6%
その他	43	1.8%	66	4.3%	23	54.6%
小計	2,377	100%	1,544	100%	▲ 832	▲ 35.0%
調整額	▲ 103	—	▲ 135	—	▲ 32	—
営業利益	2,274	—	1,409	—	▲ 865	▲ 38.0%
熱交換器事業	4,023	31.5%	3,130	22.2%	▲ 892	▲ 22.2%
プロセスエンジニアリング事業	7,711	60.3%	9,497	67.4%	1,785	23.2%
バルブ事業	1,050	8.2%	1,463	10.4%	413	39.3%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	12,784	100%	14,090	100%	1,306	10.2%

3-③. セグメント別の業績 (計画比)

(百万円)

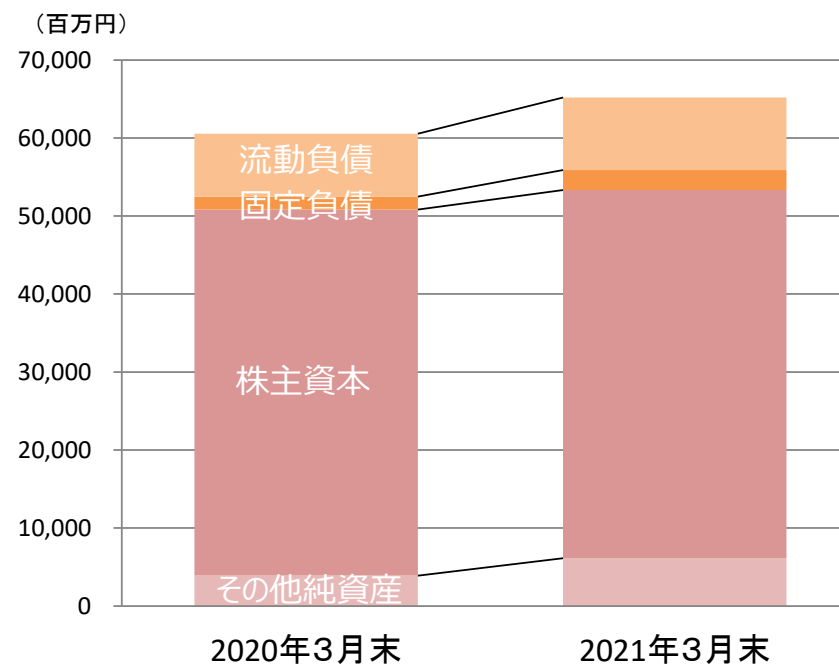
	2021年3月期 通期		2021年3月期 通期		計画比	
	修正計画 (2020/8/7公表)	構成比	実績	構成比	差額	達成率
熱交換器事業	11,000	38.5%	10,405	36.9%	▲ 594	94.6%
プロセスエンジニアリング事業	13,500	47.2%	13,307	47.3%	▲ 192	98.6%
バルブ事業	4,000	14.0%	4,358	15.5%	358	109.0%
その他	100	0.3%	93	0.3%	▲ 6	93.8%
小計	28,600	100%	28,165	100%	▲ 434	98.5%
調整額	▲ 100	—	—	—	—	—
受注高	28,500	—	28,165	—	▲ 334	98.8%
熱交換器事業	11,500	40.2%	11,298	39.7%	▲ 201	98.2%
プロセスエンジニアリング事業	13,200	46.2%	13,100	46.1%	▲ 99	99.2%
バルブ事業	3,800	13.3%	3,945	13.9%	145	103.8%
その他	100	0.3%	93	0.3%	▲ 6	93.8%
小計	28,600	100%	28,437	100%	▲ 162	99.4%
調整額	▲ 100	—	—	—	—	—
売上高	28,500	—	28,437	—	▲ 62	99.8%
熱交換器事業	800	56.3%	771	49.9%	▲ 28	96.4%
プロセスエンジニアリング事業	380	26.8%	469	30.4%	89	123.6%
バルブ事業	200	14.1%	237	15.4%	37	118.9%
その他	40	2.8%	66	4.3%	26	166.5%
小計	1,420	100%	1,544	100%	124	108.8%
調整額	▲ 120	—	▲ 135	—	▲ 15	—
営業利益	1,300	—	1,409	—	109	108.4%

4. 資産・負債・純資産の状況



(百万円)

	2020年3月末	2021年3月末	増減額
流動資産	30,139	32,597	2,458
有形固定資産	14,506	14,863	356
無形固定資産	650	615	▲ 35
投資その他の資産	15,269	17,124	1,855
固定資産合計	30,427	32,603	2,175
資産合計	60,566	65,200	4,633



(百万円)

	2020年3月末	2021年3月末	増減額
流動負債	8,070	9,306	1,236
固定負債	1,664	2,558	893
負債合計	9,735	11,865	2,130
株主資本	46,929	47,210	281
その他純資産	3,902	6,124	2,221
純資産合計	50,831	53,335	2,503
負債純資産合計	60,566	65,200	4,633

5. 連結キャッシュフローの状況

	2020年3月期 通期	(百万円) 2021年3月期 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,018	3,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,035	▲ 563
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,168	▲ 803
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 38	11
現金及び現金同等物の増減額	▲ 3,223	2,578
現金及び現金同等物の期首残高	14,568	11,344
現金及び現金同等物の期末残高	11,344	13,922

2022年3月期 決算の見通し

6-①. 通期計画の概要(前期比)

(百万円)

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	計画	利益率	増減額	増減率
受注高	28,165	—	31,500	—	3,334	11.8%
売上高	28,437	—	31,000	—	2,562	9.0%
営業利益	1,409	5.0%	1,700	5.5%	290	20.6%
経常利益	1,765	6.2%	1,900	6.1%	134	7.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,212	4.3%	1,320	4.3%	107	8.9%

6-②. 通期計画の概要(上期・下期・通期)

(百万円)

	2021年3月期 実績			2022年3月期 計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	14,254	13,910	28,165	15,500	16,000	31,500	1,245	2,089	3,334	8.7%	15.0%	11.8%
売上高	13,888	14,549	28,437	15,500	15,500	31,000	1,611	950	2,562	11.6%	6.5%	9.0%
営業利益	866	542	1,409	800	900	1,700	▲ 66	357	290	▲ 7.7%	65.9%	20.6%
営業利益率	6.2%	3.7%	5.0%	5.2%	5.8%	5.5%	▲ 1.1 pt	2.1 pt	0.5 pt	-	-	-
経常利益	1,050	714	1,765	950	950	1,900	▲ 100	235	134	▲ 9.6%	32.9%	7.6%
経常利益率	7.6%	4.9%	6.2%	6.1%	6.1%	6.1%	▲ 1.4 pt	1.2 pt	▲ 0.1 pt	-	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	686	525	1,212	660	660	1,320	▲ 26	134	107	▲ 3.9%	25.6%	8.9%
純利益率	4.9%	3.6%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%	▲ 0.7 pt	0.6 pt	▲ 0.0 pt	-	-	-

7-① . セグメント別の見通し(通期)

(百万円)

	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	10,405	36.9%	11,600	36.8%	1,194	11.5%
プロセスエンジニアリング事業	13,307	47.3%	15,900	50.5%	2,592	19.5%
バルブ事業	4,358	15.5%	3,900	12.4%	▲ 458	▲ 10.5%
その他	93	0.3%	100	0.3%	6	6.7%
受注高	28,165	100%	31,500	100%	3,334	11.8%
熱交換器事業	11,298	39.7%	11,000	35.5%	▲ 298	▲ 2.6%
プロセスエンジニアリング事業	13,100	46.1%	15,600	50.3%	2,499	19.1%
バルブ事業	3,945	13.9%	4,300	13.9%	354	9.0%
その他	93	0.3%	100	0.3%	6	6.7%
売上高	28,437	100%	31,000	100%	2,562	9.0%
熱交換器事業	771	49.9%	930	47.7%	158	20.6%
プロセスエンジニアリング事業	469	30.4%	690	35.4%	220	47.0%
バルブ事業	237	15.4%	270	13.8%	32	13.6%
その他	66	4.3%	61	3.1%	▲ 5	▲ 8.4%
小計	1,544	100%	1,951	100%	406	26.3%
調整額	▲ 135	—	▲ 251	—	▲ 115	—
営業利益	1,409	—	1,700	—	290	20.6%

7-② . セグメント別の見通し(上期・下期)

(百万円)

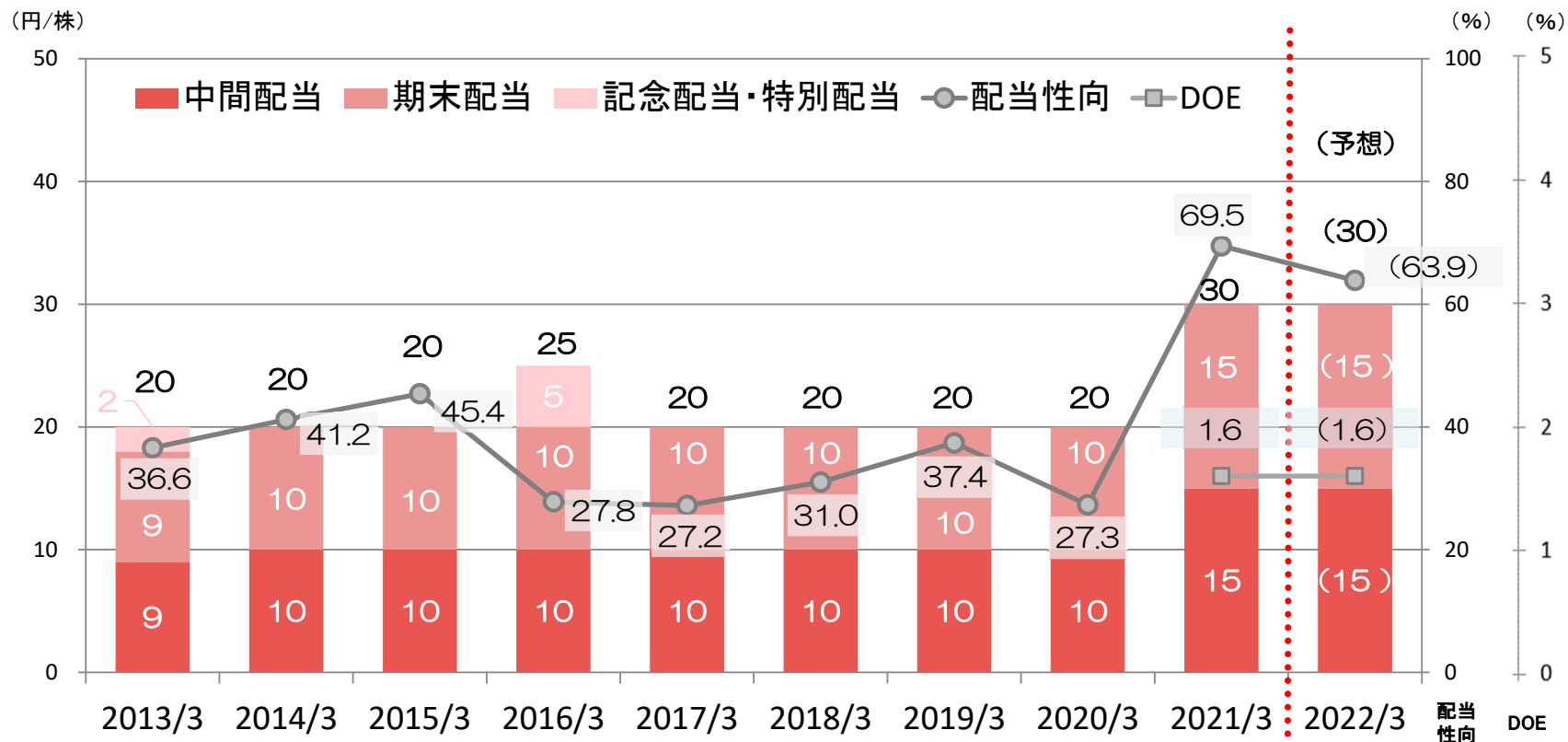
	2021年3月期 実績		2022年3月期 計画		増減額	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
熱交換器事業	5,074	5,331	5,800	5,800	725	468
プロセスエンジニアリング事業	7,145	6,162	7,800	8,100	654	1,937
バルブ事業	1,983	2,374	1,850	2,050	▲ 133	▲ 324
その他	51	42	50	50	▲ 1	7
受注高	14,254	13,910	15,500	16,000	1,245	2,089
熱交換器事業	5,619	5,678	5,500	5,500	▲ 119	▲ 178
プロセスエンジニアリング事業	6,248	6,852	7,800	7,800	1,551	947
バルブ事業	1,969	1,975	2,150	2,150	180	174
その他	51	42	50	50	▲ 1	7
売上高	13,888	14,549	15,500	15,500	1,611	950
熱交換器事業	432	338	410	520	▲ 22	181
プロセスエンジニアリング事業	279	190	400	290	120	99
バルブ事業	161	75	130	140	▲ 31	64
その他	36	29	33	28	▲ 3	▲ 1
小計	910	634	973	978	62	343
調整額	▲ 43	▲ 91	▲ 173	▲ 78	▲ 129	13
営業利益	866	542	800	900	▲ 66	357

8. 設備投資・減価償却の状況

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	
	実績	実績	実績	上期計画	計画
設備投資	1,890	3,260	1,424	1,260	5,400
内容	熱交換器事業の金型、バルブ事業の機械設備、その他事業の工場及び工場用地取得 など	熱交換器事業のソフトウェア、青梅事業所工場建設、生駒事業所の事業用地取得 など	熱交換器事業のソフトウェア、プロセスエンジニアリング事業・バルブ事業の機械設備、生駒事業所の造成工事 など	各事業の設備及びソフトウェアの増強・更新、熱交換器事業の基幹システム構築、生駒事業所の造成工事・建設工事 など	
減価償却	1,154	1,137	997	560	1,210

9. 配当の計画



【利益配分の基本方針】

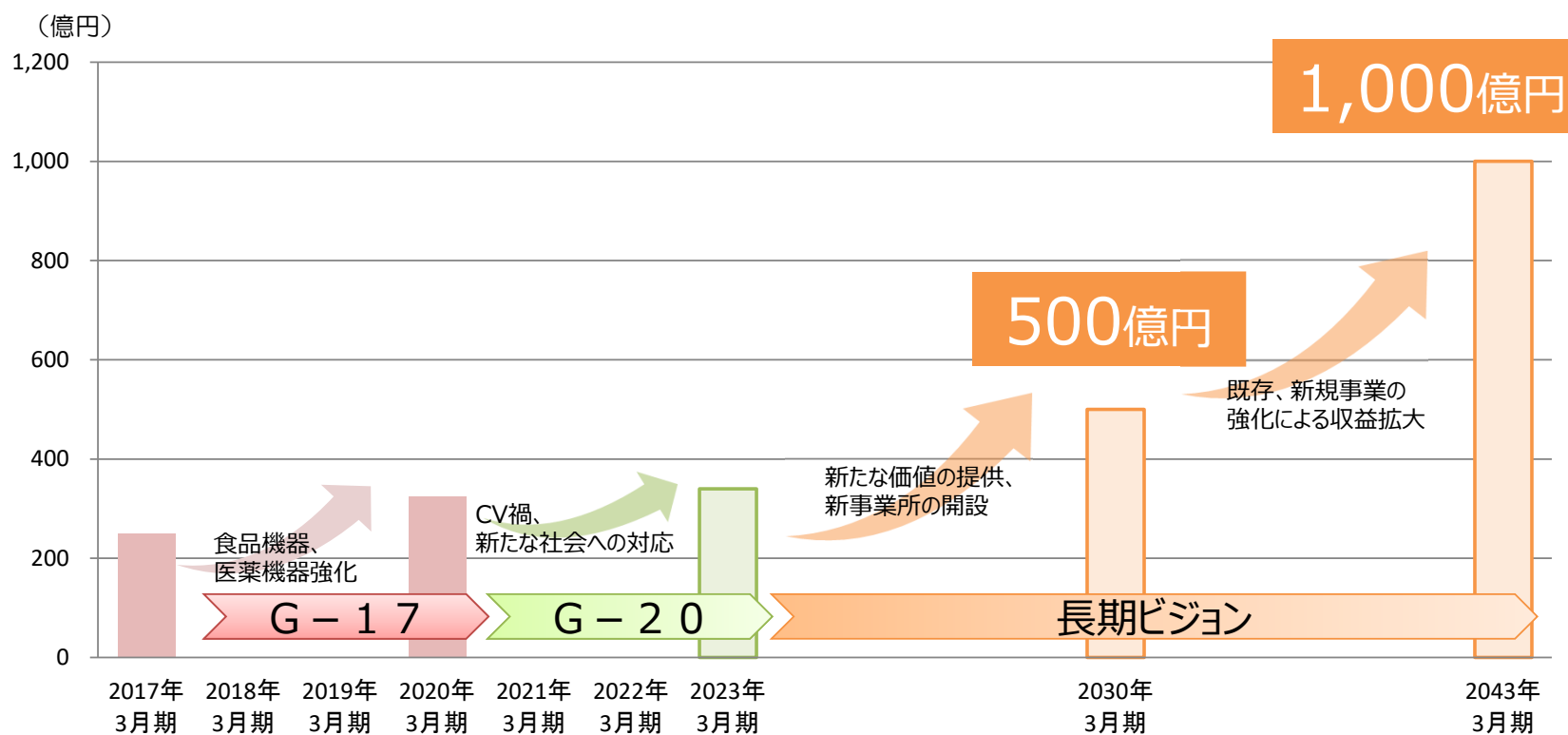
全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)1.5%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

中期経営計画 「G-20」の概要

10. 長期売上目標

2043年3月期（創業100周年）売上高目標を1,000億円に設定。
M & A や新事業所開設、新規事業創出などの成長戦略を推進。

長期ビジョンにおける売上目標



11-①. 「G-20」 連結業績目標

- 2022年3月期の計画は新型コロナウイルスの影響を考慮し修正
- 2023年3月期の計画（G-20の目標）は変更なし

	G-17 最終年度 2020年3月期 実績 A	G-20				増減率 B-A A
		2021年3月期 実績	2022年3月期 当初計画 (感染拡大前に策定)	2022年3月期 修正計画 (2021/5/14 公表)	2023年3月期 計画 B	
受注高	31,952	28,165	34,000	31,500	35,000	9.5%
売上高	32,511	28,437	33,000	31,000	34,000	4.6%
営業利益	2,274	1,409	2,300	1,700	2,720	19.6%
営業利益率	7.0%	5.0%	7.0%	5.5%	8.0%	+ 1.0pt
経常利益	2,573	1,765	2,500	1,900	2,920	13.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,080	1,212	1,700	1,320	2,000	▲ 3.9%
ROE ※	4.1%	2.3%	3.3%	2.5%	3.8%	▲0.3pt

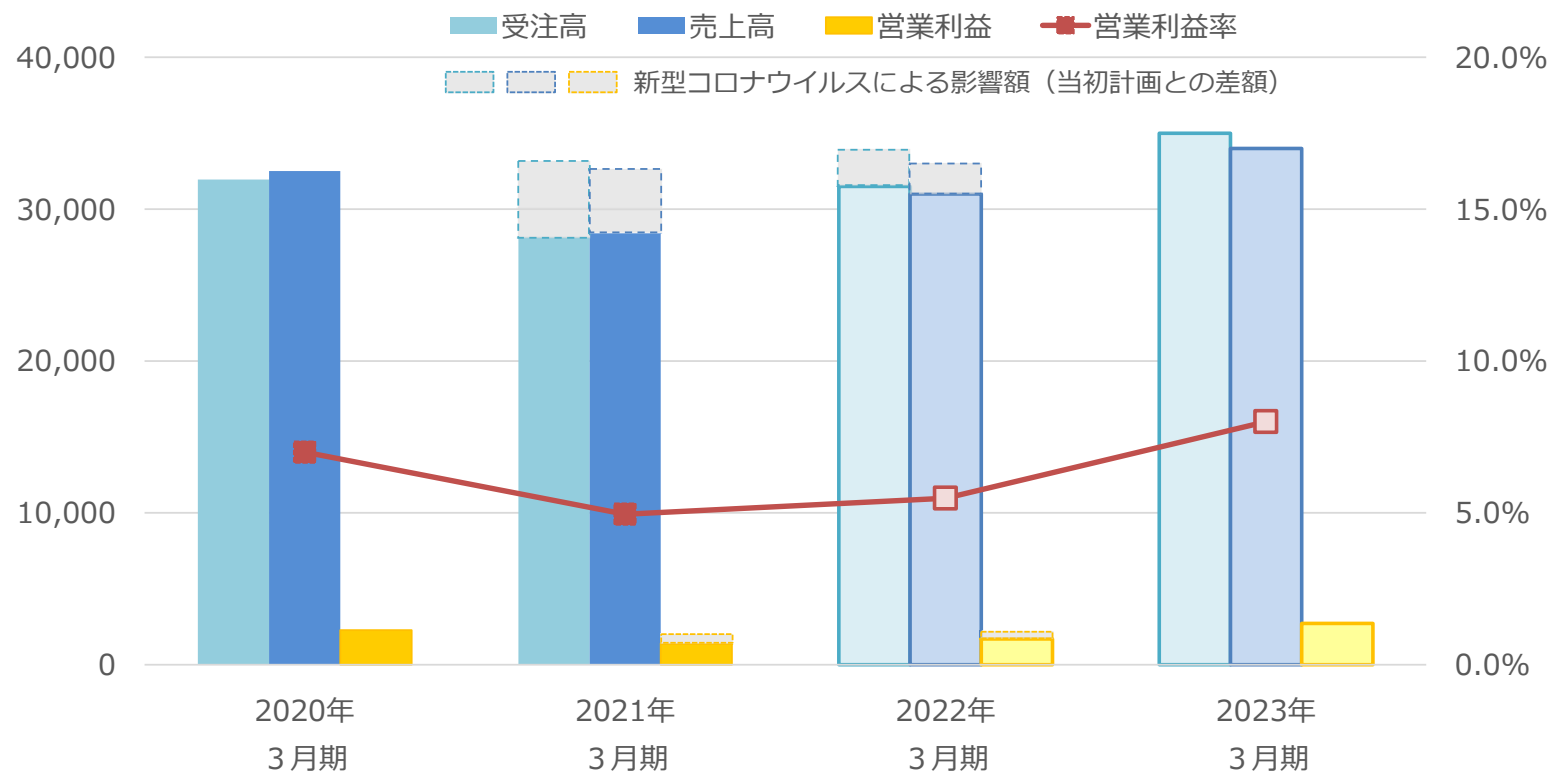
※：2020年3月期は特別利益により当期純利益が増加したことにより、ROEが高水準となっております。

11-②. 当初計画と修正計画の差額

(百万円)

	当初計画と 修正計画の差額	2022年3月期 当初計画 (感染拡大前に策定)	2022年3月期 修正計画 (2021/5/14公表)
受注高	▲ 2,500	34,000	31,500
売上高	▲ 2,000	33,000	31,000
営業利益	▲ 600	2,300	1,700
経常利益	▲ 600	2,500	1,900
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 380	1,700	1,320

11-③. 「G-20」 連結業績目標グラフ



11-④. セグメント別業績目標

(百万円)

	G-17 最終年度 2020年3月期		G-20 最終年度 2023年3月期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	12,368	38.7%	13,200	37.6%	831	6.7%
プロセスエンジニアリング事業	14,981	46.9%	17,400	49.6%	2,418	16.1%
バルブ事業	4,524	14.2%	4,400	12.5%	▲ 124	▲ 2.8%
その他	78	0.2%	100	0.3%	21	27.8%
小計	31,952	100%	35,100	100%	3,147	9.8%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—
受注高	31,952	—	35,000	—	3,047	9.5%
熱交換器事業	12,041	37.0%	12,800	37.5%	758	6.3%
プロセスエンジニアリング事業	15,957	49.1%	16,900	49.6%	942	5.9%
バルブ事業	4,434	13.6%	4,300	12.6%	▲ 134	▲ 3.0%
その他	78	0.3%	100	0.3%	21	27.8%
小計	32,511	100%	34,100	100%	1,588	4.9%
調整額	—	—	▲ 100	—	▲ 100	—
売上高	32,511	—	34,000	—	1,488	4.6%
熱交換器事業	887	37.3%	1,200	41.5%	312	35.2%
プロセスエンジニアリング事業	975	41.1%	1,300	45.0%	324	33.2%
バルブ事業	471	19.8%	350	12.1%	▲ 121	▲ 25.8%
その他	43	1.8%	40	1.4%	▲ 3	▲ 7.2%
小計	2,377	100%	2,890	100%	512	21.5%
調整額	▲ 103	—	▲ 170	—	▲ 66	—
営業利益	2,274	—	2,720	—	445	19.6%

12-①. 熱交換器事業の取り組み

きっと・もっと・ずっと - 熱で未来を創造する The Thermal Solution Company
を掲げ、熱に関する社会課題を解決できる**業界No. 1 企業**を目指す。

熱ソリューション

- 顧客の熱に関する課題を解決する「熱ソリューション」の提供を推進。

セグメントマトリクス組織

- 前中計で実施したセグメントマトリクス組織の深化とセグメント間の連携強化。

SDGs

- SDGsの考え方に基づく新製品・技術・サービスの開発。

グローバルモノづくり活動

- 日本、マレーシア、中国におけるグローバルモノづくり活動の推進。

海外事業強化

- 東アジア、ASEAN、オセアニア、MENA(Middle East & North Africa)でのシェア拡大。

12-②. プロセスエンジニアリング事業の取り組み

世の中で求められているもの、新しい価値となるものを第一に考え、顧客の期待を超える**No. 1の製品**と**No. 1のサービス**を提供する。

新事業開発

- 時代に合わせたニーズを汲み取る新たな事業の開発。

顧客ニーズへの対応

- 顧客企業の省人・省力・高品質生産ニーズに応える製品・システムの提供。

海外生産体制強化

- 中国子会社における生産体制強化。

グループ内連携強化

- 国内子会社との連携による食品機器・医薬機器に関する事業強化。

新事業所開設準備

- 生駒事業所（2023年度開設予定）での生産体制構築に向けた準備活動。

12-③. バルブ事業の取り組み

様々な業界に**No. 1 品質・性能**のボールバルブを提供し、お客様の事業活動を通じて健全な社会作りに貢献する。

重点市場への営業強化

- 主要販売先である化学業界への受注を拡大するとともに重点市場への営業を強化。

用途限定弁の強化

- 用途限定弁の販売強化によるシェア拡大。

SDGs

- 社会課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献できる製品の販売。

海外事業の強化

- 中国及びタイを中心としたASEAN地域への販売強化。

生産体制再構築

- さらなる売上拡大を目的とする鴻池事業所での生産体制再構築に向けた準備活動。

中期経営計画 「G-20」 主な取り組み内容

13. 「G-20」の目標達成に向けた取り組み

成長市場への拡大、既存市場の深耕



① 水素社会への対応



② 中国の中薬市場の開拓



③ 化学市場への深耕

ウィズコロナにおける取り組み



① 医薬品サプライチェーンの見直し



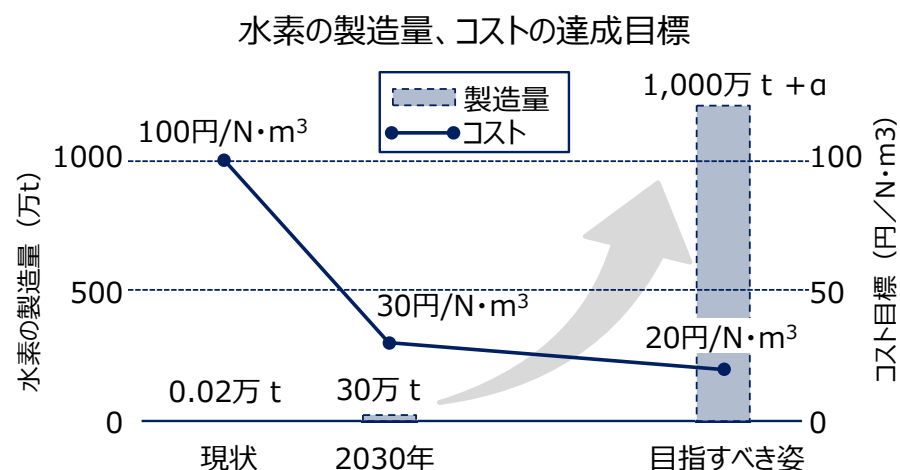
② 巣ごもりによる内食需要の拡大

14-①. 成長市場への拡大(熱交換器事業)

脱炭素社会の実現に向けて大きな役割を果たす
水素の製造プラント向けにプレート式熱交換器を供給



福島水素エネルギー研究フィールド(2020年3月稼働)
出典:新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
ニュースリリース(2020年3月7日)

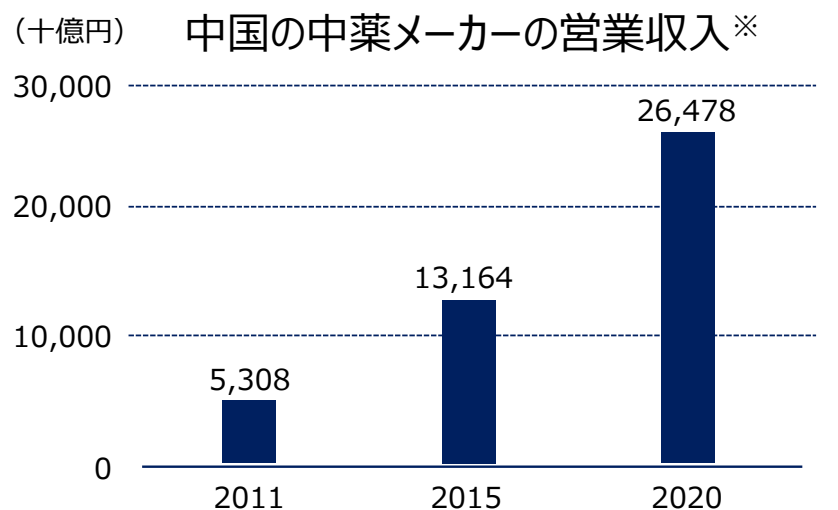


出典:「今後の水素政策の検討の進め方について」
(経済産業省、資源エネルギー庁 2020年11月)より作成

- 世界最大級の水素製造装置を備える「福島水素エネルギー研究フィールド」(福島県浪江町)にプレート式熱交換器を納入。
- 水電解装置において電解液の温度調整に使用。
- 脱炭素社会に向けて水素製造量は急拡大する見通し。
- 水の電気分解以外にも石炭からの水素製造プロセスにも熱交換器を供給。

14-②. 成長市場への拡大(プロセスエンジニアリング事業)

日阪の高性能な濃縮装置の海外展開を図ることにより、
拡大する中国の中薬市場を開拓



※販売額2,000万元/年以上の中薬企業の営業収入合計
出典：薬用作物産地支援協議会作成資料

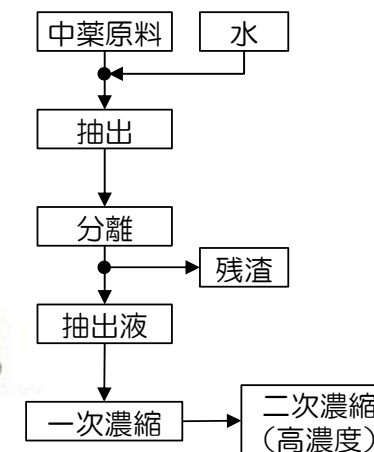
- 中国は国の重要な産業として中薬産業を強化。
- 市場拡大とともに品質も向上。

● 技術的優位点

- ・濃縮工程において、発泡しないプロセス制御を実現

● 装置の特長

- ・ローカル品に対して高濃度濃縮を実現
- ・安定した高い稼働率も併せて実現

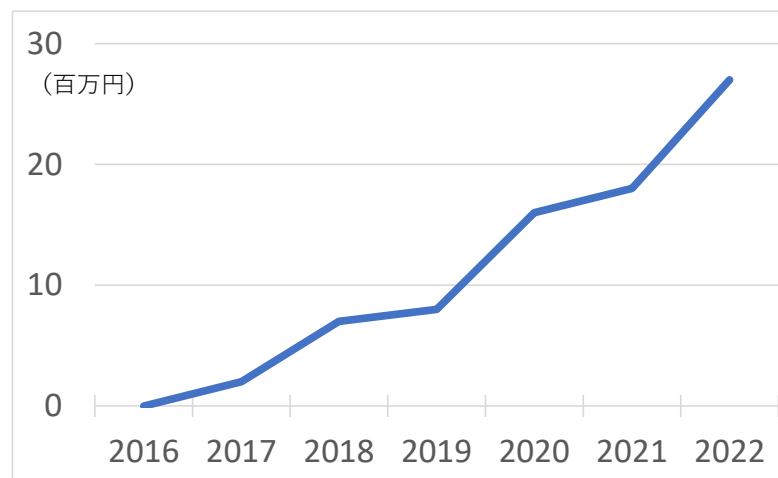


14-③. 既存市場の深耕(バルブ事業)

主力のボールバルブに加え、ダイヤフラムバルブの販売を強化し、
ラインアップ拡充により受注基盤を強化



当社ダイヤフラムバルブ (HD1) 売上高推移



構造	<p>ダイヤフラム弁</p>
利点	<ul style="list-style-type: none">● 洗浄性が良い。● 外漏れしにくい。● 流量調整に優れる。

- ラインアップを拡充し、顧客のニーズに対応。
- 高付加価値の製品を提供。
- 化学業界での日阪の存在感向上。

13. 「G-20」の目標達成に向けた取り組み

成長市場への拡大、既存市場の深耕



① 水素社会への対応



② 中国の中薬市場の開拓



③ 化学市場への深耕

ウイズコロナにおける取り組み



① 医薬品サプライチェーンの見直し



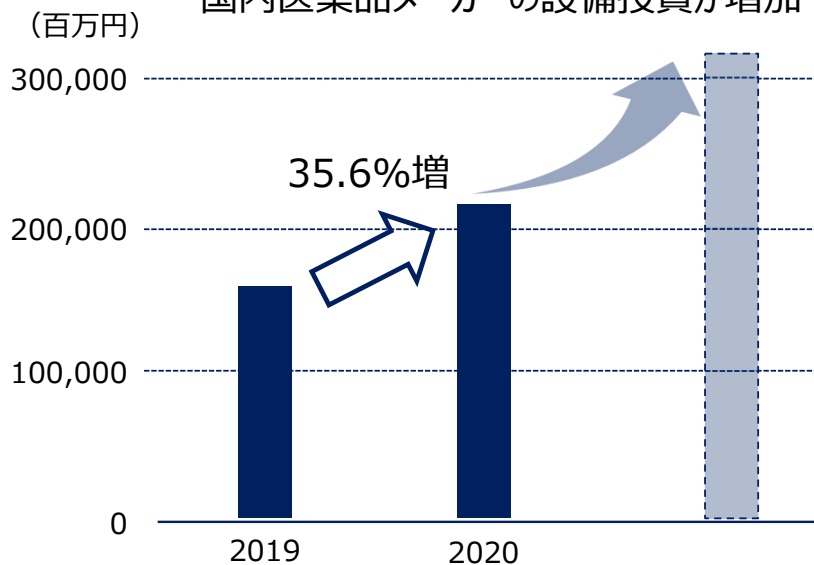
② 巣ごもりによる内食需要の拡大

15-①. ウィズコロナにおける取り組み(医薬機器の強化)

新型コロナウイルスワクチン製造プラント、 原薬製造プラントなどの医薬機器関連向けを強化



国内医薬品メーカーの設備投資が増加



出典：日本経済新聞社調べ（国内有力医薬品メーカー19社合計）



培養槽



バルブ

原薬



全溶接型
プレート式熱交換器

- コロナ禍をきっかけとして
医薬品のサプライチェーンが見直され、
原薬などを中心に医薬品の国産化が
国策として進められる見通し。

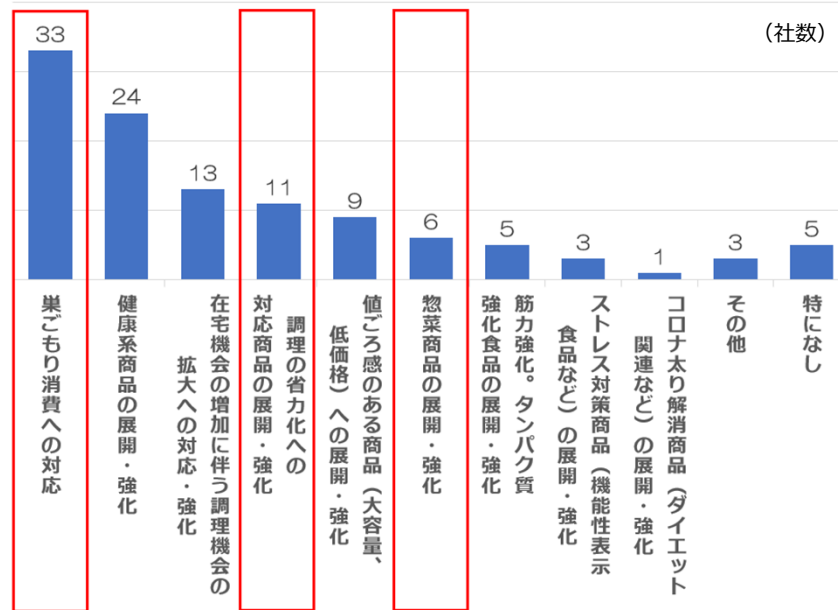
15-②. ウィズコロナにおける取り組み(食品機器事業の強化)

チルド惣菜の更なるロングライフ化を実現する 「LC PACK」を開発

12 つくる責任
つかう責任



コロナ禍における生活様式の変化に対する食品メーカーの事業・商品展開



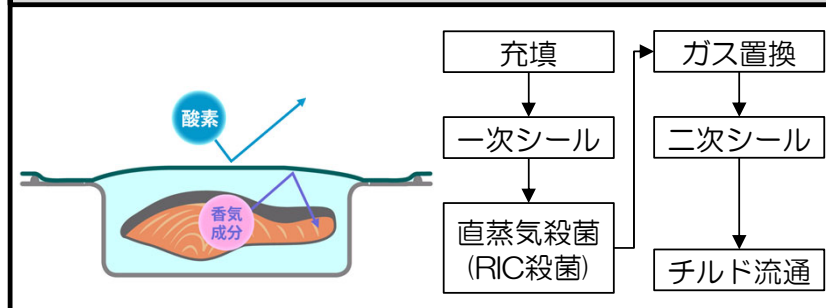
出典：矢野経済研究所調べ(国内加工食品会社46社へのアンケート)

● 技術的優位点

- ・独自のガス置換方式による酸化抑制
- ・バリア包材による香気成分の発散防止

● 特長

- ・出来立てに近い「おいしさ」と少しでも長い「賞味期限」を実現



- コロナ禍において外食向けは落ち込んでいるものの、内食向けは好調に推移。
- 各食品メーカーは巣ごもり需要への対応を進めており、新たな設備投資も見込める。
- 海外においても内食向け需要は拡大すると見られ、海外展開にも注力。

16. その他の取り組み(経営理念の体系化)

日阪グループの拡大、人材多様化などを受けて
経営理念を体系化し社員の一体感を醸成

**まごころ
誠心**

社訓

「誠心」
「まごころ」のある人間になろう
「まごころ」のある製品をつくろう
「まごころ」のある会社になろう

社是

「世界に定着する日阪」
高い技術・広いネットワーク・深い見識で、
魅力ある製品・サービスを提供する

「豊かな人間性の追求」
高い志・広い視野・深い思考で、
魅力ある人間になる

行動指針

より高く
挑戦し新たな発見をしよう

より広く
自分の可能性を広げよう

より深く
専門家になろう

1 ©HISAKA WORKS, LTD. 2019 2

<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。